

テーマ 「退院意欲を取り戻すための支援」

担当：外間 ^{ほかま}直樹（新潟医療福祉大学看護学部）

本日の主な講義内容

1.長期で入院されている患者さんが退院する意義

2.退院の動きを弱めてしまう2つの要因

1)患者さん側の要因

2)スタッフ側の要因

3.退院意欲を取り戻すための取り組み

1)患者さんの取り組み

2)スタッフ側の取り組み

1. 長期入院患者が退院する意義

□ もともとは地域で生活を営んでいた人

→ 「
」

□ 病気が良くなれば退院ということ

→ 「
」

□ 社会的入院は患者さんの権利を侵している

→ 「
条約や
法」

2.退院の動きを弱めてしまう2つの要因

1)患者さんの退院意欲を低下させる要因

- (1)漠然とした不安に襲われる
 - (2)思いの表出が少ない・上手くない
 - (3)長い間の閉鎖的で管理的な入院生活
 - (4)他の患者さんを見てのあきらめと絶望
 - (5)自分で決めるという経験の少なさ
 - (6)頼れる人の有無
-

2.退院の動きを弱めてしまう2つの要因

2)スタッフ側の要因で起きやすい事

(1)退院に向けた患者さんに求める目標が高い

(2)退院は無理という思い

(3)退院の基準が家族や受け入れ先の有無

(4)患者さんの退院に対する心のゆれを見た時

2.退院の動きを弱めてしまう2つの要因

2)スタッフ側の要因で起きやすいこと(つづき)

(5)長期入院の患者さんに対して疑問を持つ

(6)退院支援に向けた自らのアンテナを高くする

(7)他の職種との日ごろからの関わりを大事にする

3.退院意欲を取り戻すための取り組み

1)患者さんの取り組み

(1)日中の活動と夜間の睡眠がとれる

(2)お薬の自己管理ができる

(3)お小遣いの管理ができる

(4)退院後に利用するデイケアや作業所が分かる
(イメージできる)

3.退院意欲を取り戻すための取り組み

1)患者さんの取り組み(つづき)

(5)心理教育、退院支援グループに参加できる

(6)困った時には誰かに相談できる

(7)家族との関係性が分かる

(8)退院を目指す仲間との出会いが動機付けになる

3.退院意欲を取り戻すための取り組み

1)スタッフ側の取り組み

- (1)あきらめずに、ねばり強くかかわる
 - (2)良いところ探し、伸ばす声かけをする
 - (3)これからどうしたい・希望・夢を聴いてみる
 - (4)今の気持ちや葛藤、迷い、不安を聴いてみる
-

3.退院意欲を取り戻すための取り組み

1)スタッフ側の取り組み(つづき)

(5)家族に対する丁寧なかかわりを心がける

(6)院内の退院支援委員会での十分な検討をする

(7)専門職・外部機関との連携する

(8)ピアサポーターとの関わる機会を作る

「日ごろの患者さんとの丁寧なかかわりと
対話を大事にする」
